

・合宿初日の前半パートは、マインドマップを描こうというもの。私は理想を描くのが苦手だという自覚があるので、うまくできるか心配だったけど、主催のBさんが紹介してくれた本を読むと、右脳と左脳の話だったり、しっかりと理由が落とし込まれていて、単に想像力が問われるものではなく、思考法として確立されているのだということがわかった。

Bさんが考えて来てくれたお題は「10年プロジェクト」。共通の話題だからこそ、それぞれの特徴が、面白い位表れたなあと思った。特にセンターに書いたイラストが顕著で、私は高低差の連なった山を目指す登山家の絵を書いた。それぞれ目標の違いはあれど、それに優劣はなくて、自分のやりたいことを目指すコミュニティ。それを表現したつもりだ。

Bさんは「収穫」をイメージして、茶碗に盛られたごはん、稲の絵を。(そういえば、昨年の成果班で「炊飯器」という単語を挙げたのもBさんだったなあと思い出した)Aさんは、それぞれの生活が交わる場として、お花のようなイラストを。(人の輪を大事にするAさんらしいイラストだと思った)陽子さんは、目が特徴的なキャラクター？のイラストを。メンバーを表しているのかと思いきや、周りに刮目されている状態を表現したのだという。他のメンバーは、10年プロジェクトそのものを描いたのに対し、陽子さんは「見られている状態」を描いたところに、陽子さんの意識は、すでに次の目標へとシフトしているのだなあと思った。

そして、陽子さんから「個性の表現」という話があった。努力ではなく、元々持っているものを活かすことは、人生においてのアドバンテージになるという内容だった。今年は能力に

ついて考える機会が増えたと時折話を聞いていたけど、陽子さんの中で葛藤や思考を重ねた結果辿り着いた考えで、今までだったら出なかった話だと思う。そういう陽子さんの思考の変化を改めて感じた時間だった。そして、まだまだ自分の個性の活かし方がわかっていないところがあるので、まずはメンバー同士でお互いの個性を認識、自覚することから始めたいと思った。

二つ目のカードゲームは、カードに書かれたテーマを指定時間で話すというもの。好きな雑誌というライトなものから人生で衝撃を受けたことなど、テーマが多岐に渡り、これは仲を深めるのにいいツールだなあと考えた。日常で話す話題は、「今」の自分が興味があること、考えていることが多いので、与えられたテーマについて話すことで、思いがけずメンバーの昔の話を聞いて、それが今に繋がってることを確認できた時間でもあった。

話し過ぎたかなと思えば時間が足りなかったり、まだ余っているとせば時間をオーバーしてたり。自分が話している時の時間感覚のなさにびっくりした。Bさんの好きな雑誌がオリーブということを知ったり(「山ガール」という単語が懐かしかった。ちなみに私はプチセブン派でした笑)、Aさんがもらったプレゼントをいらないと言えなかった話、陽子さんは何がテーマでも時間ぴったりで、前から感覚に優れているという話を聞いてはいたけど、その正確さに改めて驚いた。

今回も遠方から本やペンセット、シート等用意して来てくれたBさん、ありがとうございました！遊びの要素もありながら、

みんなの価値観を知ることができて、いいウォーミングアップ
の時間になったと感じました。
(E.M 40代女性 埼玉県)